

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号
(タウンコート常磐町 1F)

TEL. 054-252-2418

FAX. 054-252-2430

発行人 松浦 源

大久保昌彦氏に 静岡県 優秀技能者賞



大久保昌彦氏(榛南支部)は、十一月二十九日(月)県庁西館「第一会議室」で開催された静岡県職業能力開発協会表彰式において、優れた技能をもって産業界の発展に寄与すると共に技能者の育成等に果たした功績により今年度の静岡県優秀技能者として、静岡県知事の功労表彰を受賞されました。

大久保氏は、およそ四十年余りにわたり建築板金業に従事しているが、氏は、伝統的な銅板一文字工法、銅板加工技術に優れ、これらの屋根や銅板加工に関する新技術の普及や技術開発に熱心で、様々な新技術を積極的に取り入れながら自らも新技術の研究開発を進めるとともに新技術を自ら実践し、青年層を中心に県下全域にその内容を発信し、新技術を普及した。また、特にベンダーシャーリングを用いた精度の高い銅板加工技術力は極めて優れており建築板金業界にとって常に課題となっていた材料加工

時間及び施工時間の短縮に大きく寄与した。

また、氏が導入したベンダーシャーリングは特に銅板材料の加工能力に優れ、長尺屋根材料加工の新技術による恩恵を多くの板金業者が享受することとなった。

特に、独自で研究・開発した長尺工法は県下に広く普及していった。

さらに、氏は、青年層に対して、伝統的な銅板一文字工法を積極的に指導すると共に地域の技能検定受検者を自社の工場に集めて、検定に必要な基本的事項を繰り返し教えるなど建築板金基幹技能者の実力をもって技術指導を行いながら銅板加工の面白さや技術を伝承している。

また、組合の常任理事として地域住民の建築板金に対する意識を高めるため、民間施設で実施するWAZAチャレンジ教室などの講師を積極的に務める他、技術専門校のテクノフェア等に参加して地域住民に建築板金の重要さや面白さを伝承している。

大久保昌彦氏から 受賞の喜びが次のように 寄せられました。

この度、県知事表彰を受章させていただき、私にとりまして身に余る光栄と存じます。

また、表彰式当日には理事長及び副理事長の皆様

様から身に余る祝福をいただき厚くお礼申し上げます。

諸先輩方が数多くおられる中、私のような若輩者が先んじて名譽ある知事表彰を受章させていただいたことは、ひとえに皆様方のご指導、ご支援の賜物と、心から感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます次第です。

私といたしましては、つきなみではありますが、この受章を機に、微力ながら、静岡県板金工業組合並びに建築板金業界発展のため、より一層、努力する所存であり、今後の、組合の皆様方におかれましては今後共、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この度は誠にありがとうございます。なお、大久保昌彦氏の表彰式が十一月二十九日(月)であったため、表彰式のご同伴の写真が間に合いませんでした。その旨を記し、一月号にてご同伴写真を掲載いたしますことをご了承ください。

全板連功労表彰を 二名が受章

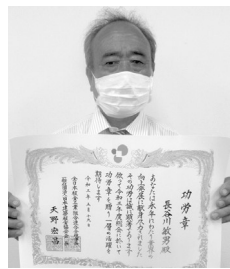
県板事務局

全板連は、第七十二回建築板金業者静岡大会の二年連続の延期を受けて、このままでは、全国の功

労表彰受章候補者が停滞するとの観点から、令和三年度に限って、大会を開催しないで、功労表彰受章候補者を募って厳重な審査を行い、これを表彰することとしました。

本県組合からは次の二名の方が推薦を受け、功労表彰を受章されました。

常任理事 長谷川敏男氏
(小笠支部)



前任会計 酒井 啓一氏
(西遠支部)



全技連会長表彰
の受賞

副理事長 伏見一雄氏



技能振興に顕著な功績のあった功労者に贈られ

る全国技能士連合会会長表彰は県板副理事長である伏見一雄氏(清水支部)が受賞の榮譽に輝かれました。

伏見氏は、十一月五日(金)に東京都千代田区九段北「アルカディア市ヶ谷」で行われる表彰式に他の受賞者と共に全国技能士大会に出席し表彰状並びに記念品が授与される予定でしたが新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として全国技能士大会が中止となったため、十一月二十五日(木)に清水テルサで行われた、県技連表彰式において表彰状などが伝達されました。

静岡県技能士会 連合会表彰式

令和三年度静岡県技能士連合会の表彰式が十一月二十五日(木)「清水テルサ」で行われ、本県板からは全技連会長表彰受章者、県技連優秀技能士表彰の受賞者、県技能競技大会成績最優秀者のほか、理事長、副理事長も出席して各賞受賞者の榮譽を称えた。

優秀技能士表彰 の受賞

増田信行氏(三島)

伏見正巳氏(清水)

技能士として極めて優れた技能を有し、他の技能士の模範となる者に贈られる、令和三年度静岡

県優秀技能士に静岡県板からは、増田信行氏(三島支部)及び伏見正巳氏(清水支部)の二名が受賞の榮譽に輝かれました。



令和三年度 技能検定結果

技術検定委員長 松下隆満

令和三年度技能検定実技試験に向けて、実技講習会が、六月五日(土)、六月六日(日)の二日間ポリテクセンター静岡で開催された。

今年度の受講者は、一級二十四名、二級七名の計三十一名で、一昨年の倍近くになったこともあり、多目的実習場A及び多目的実習場Bの二か所に分散して実施した。

私からは、時間内に大多数が仕上げまで行かなかったたので、実技試験日まで追加講習会が必要であることと講評し、今後、東・中・西の各地区で追加講習会を行う必要性が確認された。

これを受けて、各地区委員は、九月の技能検定



試験に向け、臨時の実技講習会を数か所で開催した。
また、技能検定学科試験に備えた学科講習会は、八月二十三日(月)、八月二十四日(火)の二日間をかけて新型コロナウイルス感染症対策を考慮して会場を「あざれあ」とし、十四名が参加して開催された。
なお、職能協が主催する技能検定実技試験は、予定通り九月二日(木)、九月三日(金)に実施され、二十一名が受検した。
また、学科試験は職能協が主催して九月五日(日)に実施された。
その結果、合格者は、十月一日に発表され、一級十二名、二級四名の計十六名であった。

静岡県 技能競技大会の開催
令和三年度県技能競技大会・建築板金部門は、九月二十六日(日)にポリテクセンター静岡で開催され、Aコース一名、Bコース二名が出場して課題作品(A・チリトリ、B・A4bag)の完成に向け、全力を集中して取り組んだ。
出場者に対しては、八月二十六日(日)に事前講習会が行われ、講師の熱心な指導により、本大会では参加者全員が所定の時間内に作品を仕上げるよう努力した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策例措置として、技能検定受検辞退者に検定料を返還するということもあり、技能検定希望者三十五名の内十四名の辞退者が出て、検定料が返還された。結果として三十一名の実技講習会受講者に対して十六名が合格しているもので、全体では五十一・六一%の合格率となるが、実質的な合格率は実技検定受検者二十一名に対して合格者十六名であり、七十六・一九%となった。
来年度は、新型コロナウイルス対応もなく、一級、二級とも受験者が再び増加し、多くの技能士が誕生して建築板金業界が益々繁栄していくことを願ってやまない。

入賞者の表彰
十一月二十五日、静岡県技能競技大会の表彰式が県技連表彰式として「清水テルサ」で行われ、静岡県板からは、次の方が受賞された。
○Aコース
最優秀賞 齊藤大将(清水)
○Bコース
最優秀賞 山下領一(中遠)
優秀賞 林 真太郎(清水)



ものづくり体験 学習指導 県板事務局
静岡県職業能力開発協会は、厚生労働省認定のものづくりマイスター「以下、マイスターと言おう。」派遣事業として、平成二十八年度から県下、東部・中部、西部地区の児童クラブ、小・中学校生等の児童・生徒に対するものづくり体験学習を実施し本格化しています。
この事業は、各技能士会に所属するマイスターに対して依頼されるもので、各技能士会では本業と、この派遣事業を大変な努力と犠牲を払って実施しているのが実情です。
この他にも、県ものづくりフェスタや各訓練校の技能祭、各地区のものづくりイベントへの参加等めまぐるしく出展、指導の機会が連続的に展開されていきます。
元より美しい輝きを放つ銅板細工は人気があり、児童・生徒からの要望も多く寄せられています。
現在は、理事長始め二十一人のマイスターがこの事業を担当しており、東部地区及び中部地区はマイスターが充足していますが、西部地区のマイスター数は六名でやや不足気味です。
これら指導者不足に対応するため、平成三十年度、東・中部地区の現員

数を二名追加認定して、二十三名体制で、伊豆地区や志太・榛原地区にまで順次拡大していくと見込まれる体験学習の実情に対応することといたしました。その後、組合脱退者、体調不良者等の発生などにより現行の二十一名となりました。
実施関係機関である職能協からは増加するとの見込みを聞いておりまして、新型コロナウイルスの感染防止対策に関連してか、現在のところ実

令和三年度のWAZAチャレンジ教室は十一月二十九日の静岡市立安東小学校を最後に無事終了した。
県下十校で実施され、百七十三名の児童・生徒を対象に実施される予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、後期の一校がキャンセルとなり、前期の六校及び後期の三校が実施され、参加した児童・生徒は延べ、百五十八名であった。
派遣された指導員は延べ四十名となり、昨年の倍以上となった。
各校の生徒からは、指導員に対して昨年同様、感謝の手紙が届けられた。また、今年度も昨年度に引き続き県職業能力開

発課からの要請もあり、臨時的に商業施設におけるWAZAチャレンジ教室として令和四年二月に「松坂屋静岡店」で開催される「現代の名工展」の協賛事業として児童若干名を対象に実施する予定と聞いており、最終的には十か所、百七十名を超える児童生徒に対して教室を実施する結果となる見込みである。
結果として、参加技能士も四十数名となる見込みです。
今年度の児童生徒の感想文は数校から届いていますが、紙面の都合で紹介できませんので、紙面に余裕が出ましたら掲載してまいりたいと思います。

実施所は昨年度に比べ、二か所少ない七か所となっています。
これに魅力講座を含めますと延べ四十四か所にもなります。
来年度は、このまま新型コロナウイルスが沈静化すれば、かなりの規模で事業展開を図っていくこととなるようです。
今年度のものづくり体験学習の感想文が届いており、届き次第、県板ニュースに掲載することといたします。

WAZAチャレンジ教室の結果
技術検定委員会
銅板に触れた事がない生徒も多いと思いますが、課題の「ユリ」「アヤメ」の他、持参した数種類の図柄から、好きな図柄を選び、作業を進めました。年齢幅が有り、少し心配でしたが、低学年の生徒も一生懸命に取り組んでいました。
小人数でもありましたので細かく指導できた点は良かったと思いましたが、最後に組合員が作った鶴を渡すとうれしそうにしていた顔が忘れられません。
教育事業の一環として少しでもお手伝いができた事が良かったと思います。

十月二十七日(月)コロナ緊急事態宣言が解除となる兆しの中、午前九時三十分より静岡市立北沼上小学校においてWAZAチャレンジ教室が開催されました。
全校生徒三十五名のうち三年生から六年生までの七人を三名の指導員で指導に当たりました。
当日、まずは、山本支部長が板金業の仕事内容、技能について説明をしました。
銅板に触れた事がない生徒も多いと思いますが、課題の「ユリ」「アヤメ」の他、持参した数種類の図柄から、好きな図柄を選び、作業を進めました。年齢幅が有り、少し心配でしたが、低学年の生徒も一生懸命に取り組んでいました。
小人数でもありましたので細かく指導できた点は良かったと思いましたが、最後に組合員が作った鶴を渡すとうれしそうにしていた顔が忘れられません。
教育事業の一環として少しでもお手伝いができた事が良かったと思います。

WAZA チャレンジ教室に参加して
静岡市立北沼上小学校
静岡支部 吉永秀男
十月二十七日(月)コロナ緊急事態宣言が解除となる兆しの中、午前九時三十分より静岡市立北沼上小学校においてWAZAチャレンジ教室が開催されました。
全校生徒三十五名のうち三年生から六年生までの七人を三名の指導員で指導に当たりました。
当日、まずは、山本支部長が板金業の仕事内容、技能について説明をしました。
銅板に触れた事がない生徒も多いと思いますが、課題の「ユリ」「アヤメ」の他、持参した数種類の図柄から、好きな図柄を選び、作業を進めました。年齢幅が有り、少し心配でしたが、低学年の生徒も一生懸命に取り組んでいました。
小人数でもありましたので細かく指導できた点は良かったと思いましたが、最後に組合員が作った鶴を渡すとうれしそうにしていた顔が忘れられません。
教育事業の一環として少しでもお手伝いができた事が良かったと思います。

磐田市立南中部中学校

中遠支部 山下領一

十月二十六日(火) 十三時三十分より、磐田市立南中部中学校の二年生を対象にWAZAZAチャレンジ教室が、開催されました。鋼板ヘラ出しには二十名の生徒さんが参加してくれました。

今回の課題は数種類のの中から、生徒さんを選んでもらいました。細かい線が多いものもあり、かなり難易度の高いものだったと思います。生徒さんのやる気と集中力が心配でしたが、とても素直に一生懸命取り組む生徒さんばかりで、最後までしっかりとやり遂げてくれました。

今回、コロナ禍で二年ぶりの開催でしたが例年通りの内容で行うことができました。しかし今までは違った環境で開催することで、今後の課題も見つかりました。

ヘラ出しの参加人員の増加や建築板金への理解や興味を持ってもらうにはどうしたらよいか等、来年以降に向けて、資料など準備していきたいと思っています。

指導する立場とはいえども、こちらもとても貴重な経験をさせていただいて、今後の職人・人

材育成に役立てていただければと思います。ご参加いただいた支部の皆様、お疲れさまでした。

清水支部総会を開催

常任理事 金井保栄

組合の皆さんには日ごろ大変お世話になっております。さて、清水支部では、今年度の全板静岡大会が再延期となるなど、異常事態の中、四月二十日(金)に支部総会を開催しました。

県板協力店会の(株)梅村商店、(株)小林銅鉄店様においていただき、普段は新年総会で行う年明け表彰をこの総会で行いました。

エス・ビー・ケイ(有)の西村哲也親方の佐藤晃さん、(有)田村板金工業の田村寿英親方の植野綾斗さんのお二人が表彰されました。

若い人たちがこれからの建築板金業界を牽引していってくださることを願っています。

まだまだ、コロナの終息には時間がかかりそうですが、仕事に、組合活動に頑張ります。

これから梅雨が明け、暑くなってきましたが、皆様方には体調管理に万全を期してお過ごしください。

コロナ禍での会議会場の確保 県板事務局

今年度の厚生労務委員会をはじめとする各委員会の招集は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、会議参加者相互の間隔を十分に保つことを義務づけられており、今まで開催してきた静岡労働会館では開催許可が下りませんので、静岡県男女相互参画センター「あざれあ」の会議室を確保しなければならなくなりました。

静岡労働政会館の会議室、研修室の最大収容人員は三十名です。このコロナ禍においては規定上十五人以上の会議はできないこととなるため、常任理事会以外の会議は開催できないこととなります。したがって、八月下旬の学科講習会についても「あざれあ」での開催となりました。

感染状況の現状から、今後、順次、集会所施設利用ガイドラインが緩和されてくると見込まれますが、当面は現行のガイドラインで行くようです。

従いまして、緊急的な会議でも、中規模の講習会等についても参加人員が十五名以上の場合には「あざれあ」となります。

恐縮ですが、ご承知おきください。

安全パトロールの実施

厚生労務委員会

現場安全パトロールの実施結果

今年度の現場安全パトロールは例年同様県下4地区で実施され労働基準監督署監督官他が参加して現場を調査指導した。

東部地区 (富士宮地区)	10月22日	8名参加	10現場
中部地区 (北榛地区)	10月20日	12名参加	5現場
西部地区 (小笠・中遠地区)	10月20日	4名参加	2現場
西部地区 (西遠・浜松地区)	10月23日	6名参加	3現場
計 4地区		30名参加	20現場

令和3年度団体安全パトロールが各地区で実施された。東部10月20日、中部10月20日、西部(小笠・中遠地区)10月20日及び(西遠・浜松地区)10月23日にそれぞれ実施され、全4地区30名の参加者により20箇所の工事現場で安全項目についてチェックを行った。

今年度の指導件数は、「足場の設置についての協議、木建組立作業主任者の選任・提示、足場組立作業主任者の選任・掲示、保護帽の着用、安全帯の着用、高所作業における墜落防止、移動はしごのすべり止め、消火器・灰皿の設置及び整理・整頓他、」などについて、83件が指導対象となった。

特に東部地区のパトロールには、富士労働基準監督署の監督官に富士宮地区パトロールへのご同行をお願いし、専門的見地からの指導を行っていただいた。

令和3年度 県板主要事業計画 (12月1日以降)

令和3年11月9日現在

月日	行事	会場	備考
12.8(水)	全国理事長会議	東京(会場、時間未定)	理事長
12.13(月)	中板協常任理事会	福井駅前「アオッサ」13:00~	理事長他
2.25(金)	第5回常任理事会・推進会議	静岡労働政会館13:30~(未定)	理事長他
3.11(金)	全板国保組合同会	東京板金会館(時間未定)	組合同会担当
2.26(土)~2.27(日)	全国建築板金競技大会	富士教育訓練センター	大会出場者他
1.28(金)	常任理事会、推進会議、協力店会	13:00~(会場、時間未定)	三役、常任他

<注>・この表に記載されていないが、異技連、職能協等の理事会が4年3月に、技術専門校の技能祭が、浜松2月、沼津3月にある見込み。
・このほか、全板静岡大会に関する全板連との打ち合わせが数日入る予定。
・(未定)は決まっていないということです。



長尺板金成型加工・屋根・壁
各種建築資材販売・建築板金機械工具
電動工具・エアークラップ販売

萩原スチール株式会社

お気軽にお問合せ下さい
本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)
TEL 054-627-0138
板金加工センター(アステラス製薬南側)
TEL 054-629-4700



鉄板用ビスの御用は

ドリルビス・コースレッド・ALCDドライブ・ルーフボルト・各種
お客様のニーズにお応えします

株式会社 静岡ねじ

静岡市駿河区中吉田13番6号
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

2016年 定尺機群
UMルーフ1(ONE) 発売

2020年 立ハゼ葺
UM立平333 発売



この街を想い、この街を創る
UEMATSU GROUP

第19回全板静岡大会推進会議協議事項(第18回推進会議結果、11月4日の全板理事会結果を含む。) 3.11.10

- 第72回全板静岡大会の延期

令和3年5月19日(水)、20日(木)で開催が予定されていた第72回全板静岡大会は、3月11日午後の全板連の正副理事長会議の決定により、会場は静岡ツインメッセのままで、令和4年5月18日(水)(前夜祭)及び19日(木)(本大会)に再延期されることとなったので、組合員、静岡県、静岡市、協力店、メーカー-関係機関に対して通知し理解と協力を求めた。

また、令和3年11月4日の全板連理事会で、参加人員の変更があり、2,000名の参加を目標とすることとなり、同時に、前夜祭中止することが決定した。
- 観光イベント(静岡市するが企画観光局が提供)

静岡大会の景観観光イベントは、県から提供していただくが、全員分を用意できないため、会場入り口にて、希望者に配布する予定。

なお、「ぶらりよ静岡」「ぐるめナイトマップ」及び「おもてなしクーポン」は参加者2,000名全員に静岡市駿河企画観光局が用意することとなっている。

大会延期後も2,000名分を用意いただく旨、「するが企画観光局」に再度確認する。
- 参加者への土産は用意しない。(未確認であるが、無料では少額で何か手に入るかもしれない。)

また、ツインメッセ静岡の施設利用ガイドラインにより、大会会場内での飲食ができないので、弁当に変わる代替措置として参加者全員に「お茶の土産」を配る案がでており、有力である。
- のぼり旗及び横断幕

のぼり旗50枚、ポール50本、横断幕1種類「宮城方式7.5m」で作成し高知県でのピーアール活動に使用した。

静岡大会では、のぼり旗を会場周囲のフェンスに固定するか、組合員が持って会場に立つ予定。横断幕はメイン会場の北館の壁に貼り付ける予定。
- 参加人員見込み(組合員、従業員等参加人員を280名。)内、女性を15名程度とする。
- プルゾンコートは350着準備した。

(L200着、LL150着、すでに全組合員に配布し、高知県大会で使用した。)

今後、女性、青年部、従業員の分を計画的に配布する。
- 記念モニュメントは折鶴に決定

大会記念モニュメントは折鶴と青年部が中心となって見本作りなどを行い各支部に折鶴の見本を配り各地区で300個を作成することとし元年10月26日以降に各地区に材料の銅板900枚を配布し各支部において作成した。

(銅一人3羽、アルミ「500ミリリットル缶」一人1羽)アルミ材料についても調達・配布した。

現在、青年部が中心となって作業を進めている結果、折鶴による富士山は令和2年3月15日に完成した。大会終了後は富士山静岡空港など県関係機関等に働きかけ寄贈予定としている。
- 協力店・メーカーへの記念誌広告料等要請

いくつかのメーカーから具体的な支援要請をお願いしたいとの依頼があったが、県板負担分の記念誌の発行に対する1口10万円の広告料をお願いする方向で松浦理事長から協力店及びメーカーに説明し協力を要請した結果、この報告で了承された。

また、この件については、多少の行き違いがあったので元年9月24日に急遽、説明会を開催し、協力店・メーカーにお願いした結果、原案通り広告料として要請することとなり、具体的には12月中旬に理事長及び地区長などが各店、各メーカーを訪ねて協力を依頼した。結果として200万円の広告収入を見込んでいる。記念誌の編集は令和4年12月に再開する予定。

なお11月4日の全板連理事会において、前夜祭を行わないこととなったため、協力手の予備メーカーからの広告料を一定の金額を返還することとなる予定としている。

(30,000円~40,000円、15,000円~20,000円)の範囲で今後決定する予定としている。
- 組合員企業及び関係機関の広告料はA4判2万円、半分は1万円とし、広告の対象は地区、支部も広く含めることとし1月末を目途に広告を募集した。100万円の広告収入を見込んでいる。これについても令和4年12月に再開する予定。
- 静岡商工中金からの補助金繋ぎ融資

平成30年10月上旬に静岡商工中金に対して2020年の全板静岡大会への融資について相談した。(組合定款、28~30年度の総代会議事録、議案書、各県大会記念誌の表紙を提出。)

その他、静岡大会実施計画、市役所の後援名義使用許可書の写、組合員名簿、大会収支算書、補助金内訳書を提出し、全体の経費は1,800千円掛かるなどと説明。補助金が入金されるまでの繋ぎ融資を依頼した。

平成30年10月25日に商工中金から融資する方向であるとの連絡があった。結果として2年延期したので、令和4年1月~2月に入ってから準備を進めるが、借り入れなくても済む可能性が高い。
- 救急対応のための看護師2名の確保は完了している。

看護師は救急用品及び血圧計の傾向が望ましいとの説明があったので、県板において、簡単な血圧計及び救急セットを用意する。
- 式典アテンド2名を確保した。
- ポスター及び大会記念誌の発行

これについては見積もり合わせの結果チラシに発注し、ポスターについては各種サイズ計1,100枚を印刷し各県に配布した。

大会記念誌は全板連に先立って準備を進め、大方の広告等の原稿は出揃った。大会延期が3月12日以前から一時中断しているが、今年の12月編集作業を再開したい。

現在、最大2,200冊の印刷を予定している。

ポスターの後援名義については3回目まで10機関から承認された。

(6月4日、全国に向け、修正シール発送済み。)

一部A4判については新たに印刷して活用することとした。

なお、県、市、関係機関から新たに印刷したポスターが欲しいとの要請があり、県板単独で、令和2年にB3判100枚、A4判100枚の計200枚を印刷した。
- バス駐車場の確保

バス駐車場については、約百数十台分を確保する方向でツインメッセの担当と共に努力した。(IAIスタジアム60台は確保できる見込みである。)

なお、バス駐車場の警備及び誘導は日本旅行において対応する予定であり県板は要員を割く必要はない。

IAIスタジアムについては(60台で59,400円が必要)

また、競輪場の南第1駐車場(自家用自動車250台分)の借用については、大会会場から2.5キ

- 県産品等の販売ブースの確保

これについては、厚生労務委員会が中心となって決めてゆくこととなり、全板連と交渉した結果、9月中旬に5ブースを確保することとなったが、2月26日に1ブースを追加し最終的に6ブースとなった。出店の内容は、駿河乗車4ブース、酒店2ブースである。設置費は1ブース(3m×3m)5万円であり、このうち、県板が4万円を負担し、出店者からは1万円を徴収することとなった。出店申し込みについては適時に手続きを開始したい。

新型コロナウイルス感染防止のため、施設内での飲食が禁止されており、南館、県板ブースでの飲食物の販売ができるか検討の必要あり。
- 前夜祭及び大会当日の実施体制・体制図の整備

全板連から前夜祭及び大会当日の体制図を作成してそれぞれのセクションを統制しながら対応するよう指示があり、実施体制図の基礎を作成した。さらに第14回推進会議において実施体制図の変更を行った。

その後、令和2年12月17日の現地打合せにおいて新実施体制図が配布された。これについては再度、変更が必要である。

このため令和3年3月12日に新実施体制図案を作成し推進会議委員全員に配布して意見を求めた。
- 弁当の調達先の決定

弁当については一人当たり1,200円に単価が改正されたので、条件は改良され、第10回推進会議において東海軒、天神屋、おじろの弁当の3社の弁当を試食し、投票した結果、弁当の発注先は東海軒に決定した。

今の「ツインメッセ静岡」会場での飲食は禁止されているため、食事をどうするかの間難があり、現在、全板連で検討している。

但し、本県組合員を含め、当日の展示会場のスタッフなど、弁当の配布は必要なので、新たな単価設定の弁当の調達等今後取り組まねばならない事項も多い。前日の弁当を含めて、550~600食くらい。

11月4日の全板連理事会において、弁当の配布が中止となり、お茶をお土産として全園からの参加者に配ることとなった。
- 前夜祭の出発者

前夜祭の出発者は、招待者30名、県板からの出席者70名を特定するため、招待者案及び県板からの出席者に関する考え方をまとめ、第15回推進会議に諮った。なお、招待者30名を除く県板からの出席者70名は役員24名、その他46名であり、全組合員数を46で除いて組合員何人に一人を選出するかを算出し、支部の組合員数を除いて12月23日決定した。

これについては各支部に対して、令和2年1月下旬に通知し2月末までに報告を受けることとした。

これについては、全板連の小林事務局長から静岡県板の参加規模の決定は前夜祭規模の確定までご審議したい。との連絡があり、その後、11月9日付けで、前夜祭の規模は当初の2分の1程度となることとであったが、12月17日の現地打合せの結果、前夜祭240名(内県板100名)となったものである。参加人員については今後、見直しがありうる。

11月4日の全板連理事会で、前夜祭は行わないこととなった。
- 宿泊施設の確保

現在、4年5月18日の宿泊施設をホテルアソシアに確保している。

シングル40室(税込込み朝食付き15,580円)

ツイン20室(税込込み朝食付き13,980円) 宿泊希望者は県板事務局までご連絡願いたいとしていた。(これについては、大会中止を受けて、全てキャンセルし4年度同時期で再び確保した。)

前夜祭を行わないこととなったため、今後どうするか検討する。
- 静岡県知事、静岡市長への表敬訪問

令和3年3月12日に全板連の天野理事長、小島事務理事、静岡県松浦理事長他で、静岡市長、副知事を表敬訪問し、大会が延期になったことを報告し、県知事、静岡市長の了承を得た。

表敬訪問を再度、令和4年3月に行う予定である。
- 静岡大会の延期決定経緯

全板連の天野理事長は上記17日の表敬訪問に際して、静岡市長及び難波副知事に対して、今後の新型コロナウイルスの蔓延状況に対する全板連の考え方を説明した。この3月26日に緊急常任理事会を招集して静岡大会の開催についてどう扱うかを決定したいとのことであった。

なお、この決定は各都道府県組合に対して当日のうちに連絡したいとの意向であったが、結果として3月26日の午後、令和3年5月19日、20日への延期が決まった。

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、全板連は令和3年3月11日の正副理事長会議で令和3年度の静岡大会を令和4年に再度延期することを決定した。令和3年11月4日に前夜祭を行わないことを決定した。
- 静岡市「茶つきり娘」事業の活用

静岡市農業政策課「お茶の町推進係」で担当する「茶つきり娘」事業の中で、「茶つきり娘」10名程度の派遣を依頼し、展示会場であるツインメッセ南館の入口付近で展示会場の来客に対してお茶の接待を行うことを考えていたが、新型コロナウイルスが猛威を振るっているため、断念したが、再度検討が必要である。

これについては、静岡市からの意向もあり、前夜祭でのお茶接待サービス及び本大会当日の展示会場入り口でのお茶接待サービス等について前向きに検討していくこととしている。

参加人員が決定してから、静岡市に対して、具体的に働きかける。

前夜祭での茶娘の出番はなくなったので、展示会の南館へ来ていただけるか検討を要す。
- 静岡県議会、市議会議員の当組合に対する多大な支援

今回の市議会議員選で、初当選した葵区選出の「鈴木直人」氏は、父上様が元労働協の理事長を務めた方で、県板組合に好意的であり、選挙で、静岡市板の推薦を受けた経緯もあって、大会の成功に向け、東奔西走してくれている。

静岡市補助金の増額、茶つきり娘の確保、お茶の調達、するが企画観光局のモニュメントの確保、市長の大会参加確保等多岐にわたる強力に支援してくれている。

そのほか、「天野一」氏及び「竹内良訓」氏の両県議会議員についても県費補助金の確保、後援名義承認のほかで大変お世話になっている。

欲しい物がここにある
さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

鉄鋼二次製品 卸・加工

本社/〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代) FAX 0537-48-2644
ホームページアドレス <http://www.nishikawakouhan.com/>

事業者様向けの会員制カタログ・インターネット通販
会員登録料無料・年会費無料 ご注文は24時間MAIL・FAX受付

エスコ便利カタログ(工具、機器、部品、消耗品、備品)代理店
ファーストリフォーム(施工のプロのための住宅建材)代理店

カラーベスト屋根リフォーム専用スケッチサイズ改修横葺
エバーライン® カバーベスト(工業所有権)
軒先塵草が不要・軒礎は取り替えなしで施工ができる工期的な屋根材

屋根に穴をあけない 屋根・外壁見積積算ソフト
ソーラーパネル取付金具 板金王® 瓦王® 外壁王®
PVロック® レンタル契約 ¥6,000(税抜)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ
総発売元 西川鋼販株式会社
詳しくは当社ホームページでご確認ください。

おかげさまで110周年

110 anniversary



株式会社 小池弥太郎商店

本社:静岡市葵区流通センター16番地 TEL.054-263-2280
拠点:本社・静岡工場/東京事務所/藤枝支店/牧之原工場

ガルバの「屋根」と「壁」で未来をつくる

ガルバ小池 Google検索

鋼板製 定尺横段葺屋根材 エスジーエル

快適ルーフSGL

建物全体に重厚感を演出する
影りの深い段葺ライン

※ 使用鋼板は高強度性能プレコート鋼板「ノープル15SGL」
※「SGL」は「エスジーエル」®は日鉄鋼板(株)の登録商標です。

株式会社 セキノ興産
〒420-0817 静岡県葵区東静岡1丁目2番14号
TEL(054)261-0336

KMEW

光の加減で浮き立つラインが多彩な表情を演出

全金属サイディング
はる二番

アンジュシリーズ
フレンシェイプII

ケイミー株式会社 静岡営業所 〒420-0817 静岡県葵区東静岡1丁目2番14号
TEL(054)261-0336